

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H23.5.31現在)

	5月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	7件	9件	0人	2人
平成22年度(昨年度)	8件	15件	0人	7人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

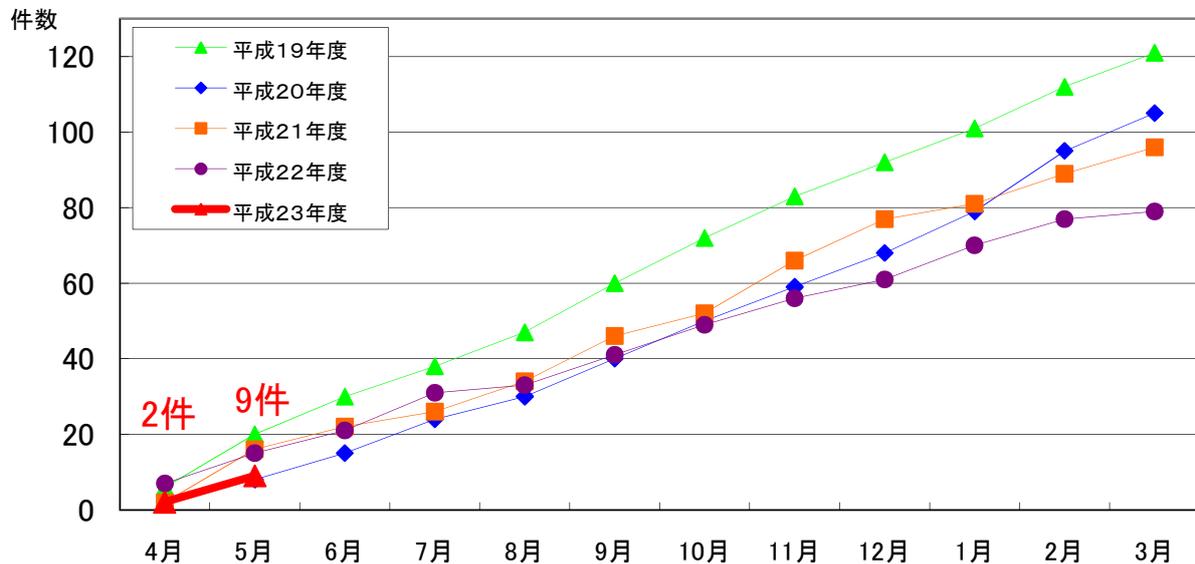
注2) 「5月発生件数」は、5/1～5/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～5/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～5/31の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

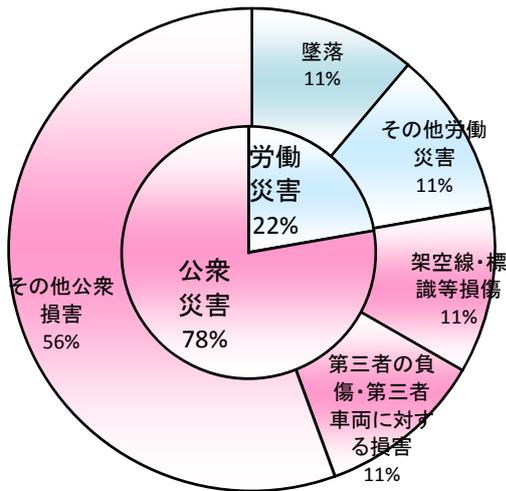
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計 (月毎)	6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)										

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

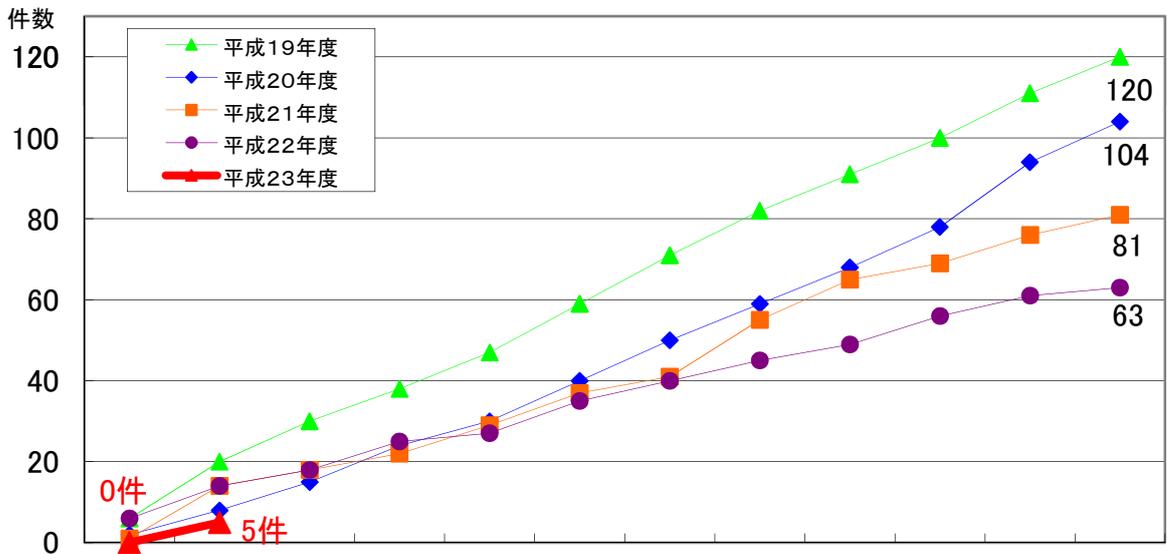
●平成23年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H21	H22	H23	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	12	6	0	18
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	4	0	9
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	2	0	7
	墜落	6	8	1	15
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	5	5	1	11
	小計	34	25	2	61
公衆損害	架空線・標識等損傷	20	14	1	35
	地下埋設物件損傷	7	6	0	13
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	11	13	1	25
	その他公衆損害	23	19	5	47
	小計	61	52	7	120
その他事故	1	2	0	3	
計	96	79	9	184	

 ..H23年度重点的安全対策項目

●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数

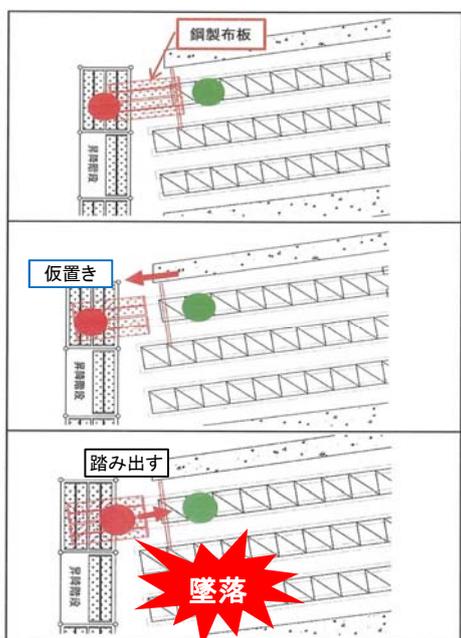
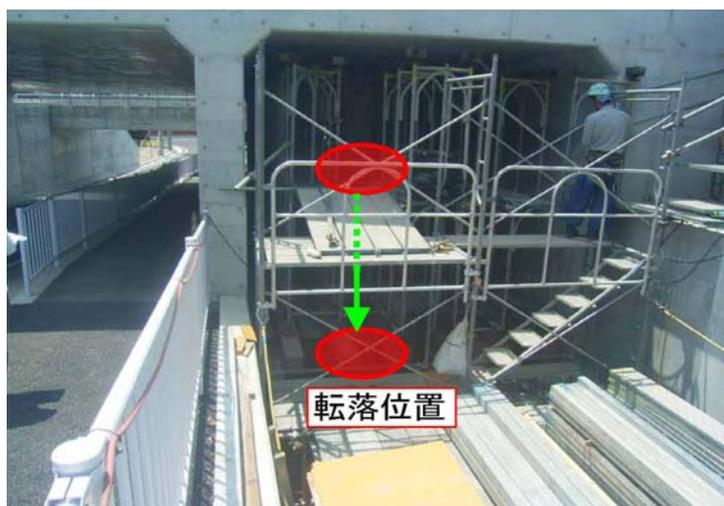
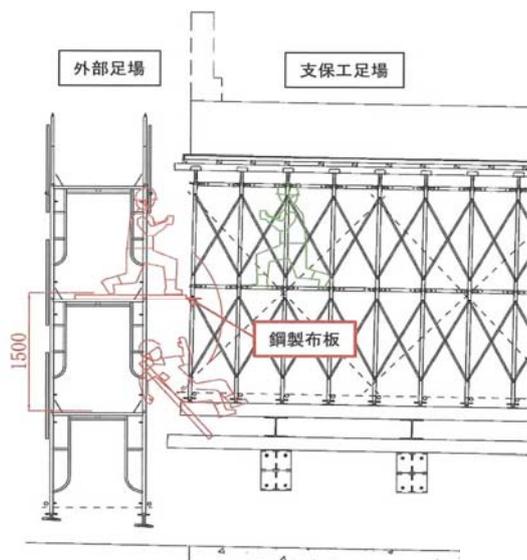


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成19年度	累計 (月毎)	6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	59件 (12件)	71件 (12件)	82件 (11件)	91件 (9件)	100件 (9件)	111件 (11件)	120件 (9件)
平成20年度	累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	78件 (10件)	94件 (16件)	104件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎)	1件 (1件)	14件 (13件)	18件 (4件)	22件 (4件)	29件 (7件)	37件 (8件)	41件 (4件)	55件 (14件)	65件 (10件)	69件 (4件)	76件 (7件)	81件 (5件)
平成22年度	累計 (月毎)	6件 (6件)	14件 (8件)	18件 (4件)	25件 (7件)	27件 (2件)	35件 (8件)	40件 (5件)	45件 (5件)	49件 (4件)	56件 (7件)	61件 (5件)	63件 (2件)
平成23年度	累計 (月毎)	0件 (0件)	5件 (5件)										

■問合せ先:企画部 技術調査課 田島・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 23 年 5 月 9 日 (月) 11 時 15 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	24	作業員	右大腿挫傷、右前腕挫傷	
事故概要	型枠支保工解体作業中、作業員が足場板を踏み外し、転落、負傷したものを。				

事故発生状況



・鋼製布板を設置替える作業を行っていた。

・結束を外し、張り出した状態で仮置きした。

・向かいから資材を受け取ろう踏み出した際に、張り出した布板の上に乗る、墜落したものを。

【事故発生原因】

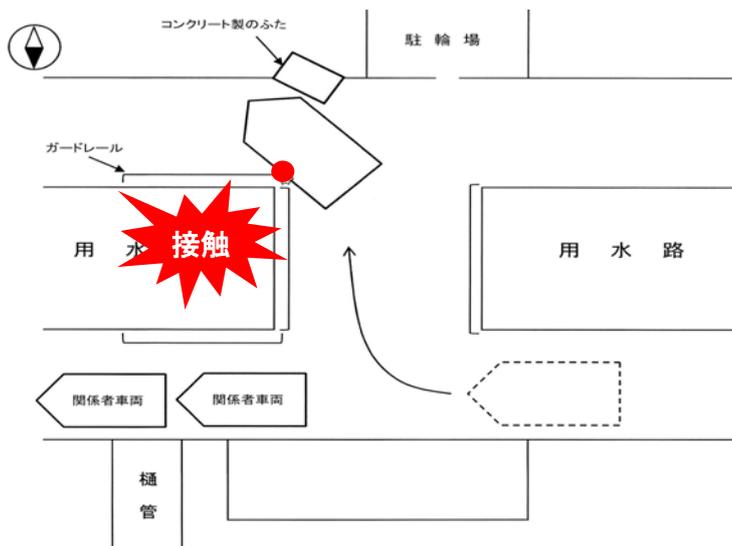
- ・作業時の足元の確認を怠ったため。
- ・作業手順の認識不足。

【事故防止のポイント】

- ・作業時の周辺確認を周知・徹底する。
- ・資材に乗って作業しないように周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 5 月 9 日 (月) 15 時 15 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 役務				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	官用車損傷	
事故概要	官用車にてT字路を左折しようとした際に、ガードレールに接触、車両を損傷させたもの。				

事故発生状況



現場状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

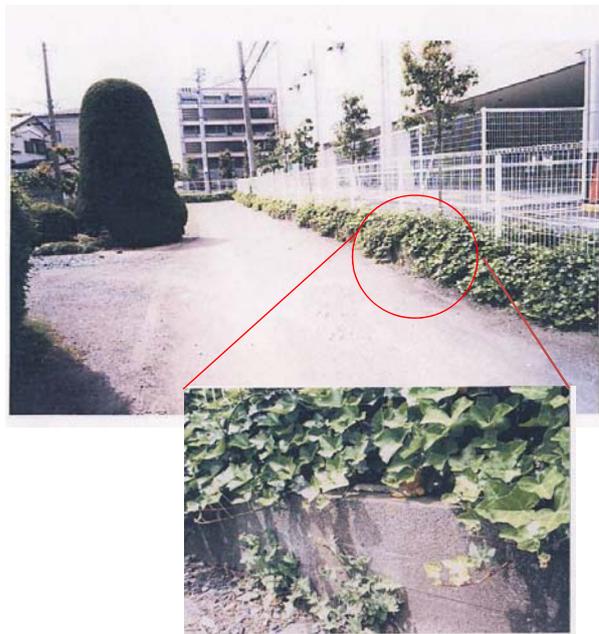
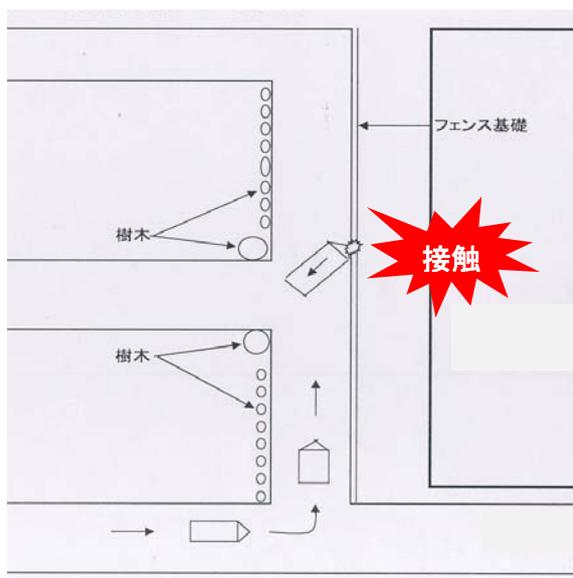
・運転手の車両左側確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。
 ・死角がある場合は、降車して周囲を確認し、支障物を把握する。 など

発生日時	平成 23 年 5 月 12 日 (木)			9 時 55 分	天候	雨
工事情報	道路系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	官用車損傷		
事故概要	現地にて車両を駐車しようとバックさせたところ塀に接触させ、損傷させたもの。					

事故発生状況



接触箇所



車両損傷状況

【事故発生原因】

- ・運転手の前方確認不足によるもの。

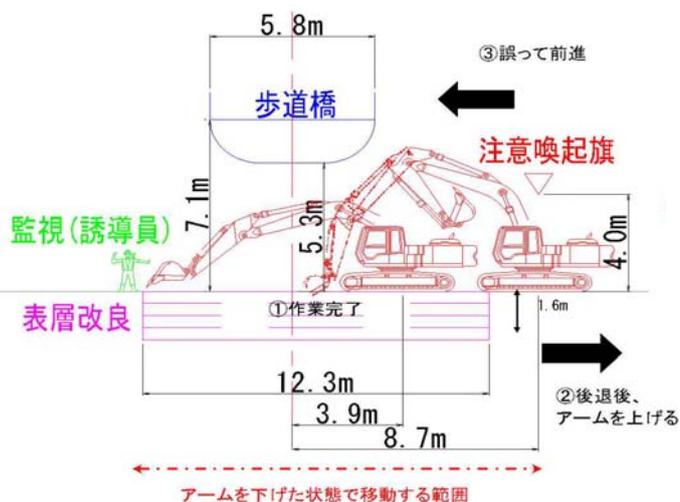
【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・周囲を十分確認し、操作に無理がないような箇所を通行するようにする。
など

発生日時	平成 23 年 5 月 19 日 (木)			16 時 40 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	歩道橋外装板損傷		
事故概要	表層改良作業後にバックホウを操作中、アームを上げたまま前進させ、歩道橋の外装板を破損させたもの。					

事故発生状況

・0.7m³バックホウによる表層改良作業。
 ○現場ルール
 バックホウが注意喚起旗より歩道橋側に移動する場合は、アームを下げた状態で作業すること



- ①歩道橋下での作業が完了
- ②バックホウを後退、アームを上げる
- ③監視員が注意をしたところ、オペレータが声に驚き、バックホウを前進させ、アームを歩道橋に接触



歩道橋損傷状況

【事故発生原因】

・上空支障物に対する注意喚起が不十分であったため。

【事故防止のポイント】

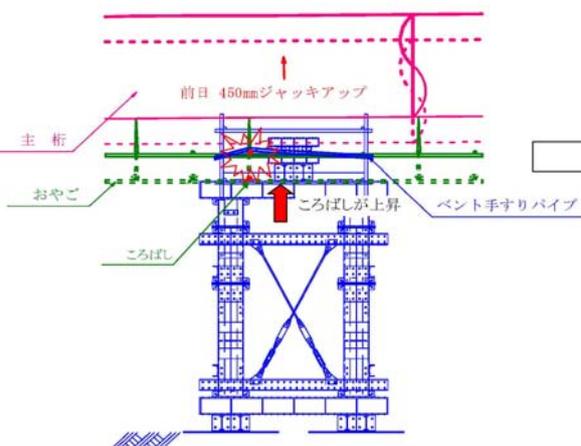
・上空支障物の近接箇所における作業時の安全管理を周知・徹底する。
 ・注意箇所における作業については作業計画を工夫する。 など

発生日時	平成 23 年 5 月 25 日 (水)			9 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	61	作業員	顔面打撲、挫創、血腫		
事故概要	足場用単管パイプの修正作業を行っていたところ、単管パイプが跳ねて作業員にあたり負傷したものの。					

事故発生状況

【事故前の状況】

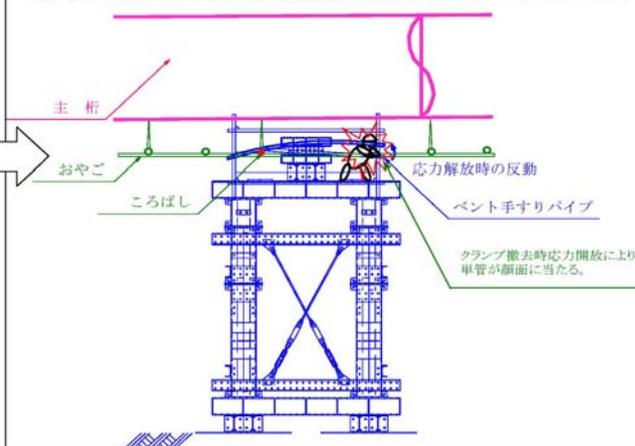
前日 主桁を 450mm ジャッキアップし、桁とともに持ち上げられた吊り足場のころばしパイプがベントの手すりに接触し、手すりパイプが変形し内部応力が発生。(そのことに気付かなかった。)



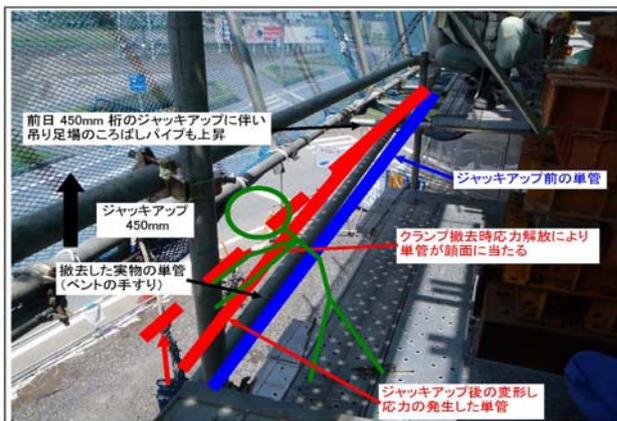
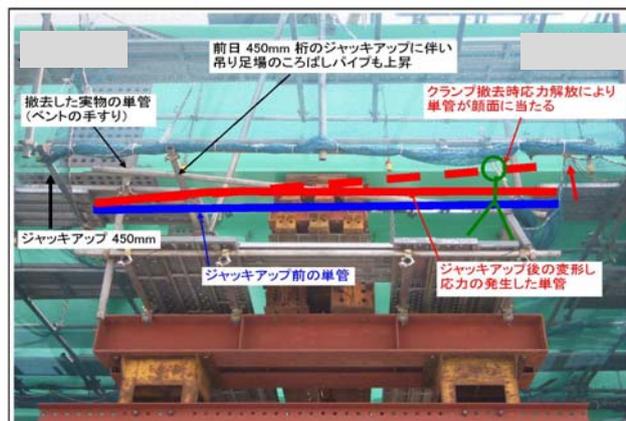
足場より事故発生箇所を撮影

【事故時の状況】

当日 被災者がP1橋脚上で仮囲い(養生)作業中、ベントの手すりパイプの変形を発見。一次下請主任技術者(足場の組立て等作業主任者)に報告。一次下請主任技術者(足場の組立て等作業主任者)より手すりパイプ交換の指示あり。変形した手すりパイプの交換作業開始。手すりパイプのクランプを外した瞬間、手すりパイプの応力が解放され、顔面に当たった。



側面より事故発生箇所を撮影



・前日のジャッキアップは作業内容の変更にもなう作業であり、作業前後で現場状況の確認をおこなっていなかった。

【事故発生原因】

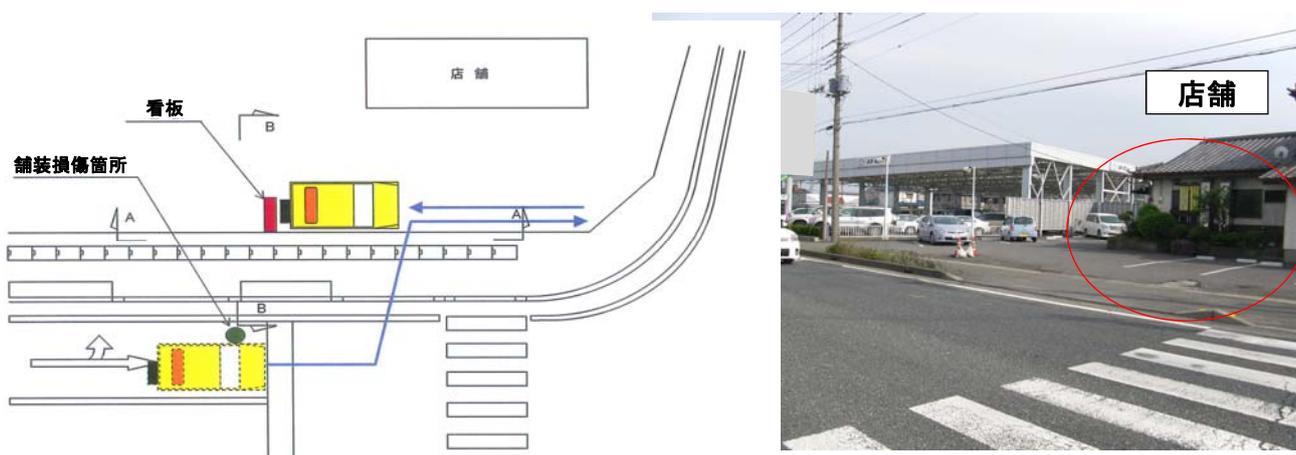
- ・作業計画変更時の現場確認が不十分であったため。
- ・異常発見時の対処方法が不十分であったため。

【事故防止のポイント】

- ・作業内容を変更した際は作業前、作業後ともに現場をよく確認し、作業員に周知・徹底を行うこと。
- ・異常発見時の対処については、連絡・報告体制を整え、指示・指導をすること。など

発生日時	平成 23 年 5 月 30 日 (月) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	店舗看板、パトロールカー損傷	
事故概要	道路巡回中、舗装損傷箇所を発見し 駐車場に停止させようとバックしたところ、店舗看板に接触、看板とパトロールカーを損傷させたもの。				

事故発生状況



- ・道路巡回中、道路上に舗装損傷箇所を発見、確認するために近隣の店舗に駐車させてもらおうとした。
- ・その際、店舗敷地内に設置してあった看板に接触し、看板と車両を損傷。



店舗看板損傷状況



車両損傷状況

【事故発生原因】

- ・運転手の後方確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・巡回員が同乗している場合は、巡回員が降車して周囲を確認してから後退する。 など